聖パウロ学園同窓會會報

第13号

平成15年12月22日発行
発行者
聖パウロ学園内
同窓会事務局
〒525-8566
草津市野路町１７８
☎077-564-5600
FAX077-564-5136
http://www.schoolguide.co.jp/kousen

バスケットボール部 全国ベスト16！

大接戦となった２回戦、対市立船橋（千葉）、４Ｑのジャンプボール（長崎県立体育館）〈記事は４面〉

これからの学校を目指すために
―ごあいさつ―

会長　小池　慎

街にはクリスマスソングが流れ、次第に年も押しつまって参りましたが、会員の皆様にとりましては、今年はどのような年でありましたでしょうか。

母校では、常勝チームとなりましたテニス部が、インターハイと国体に出場、空手部がインターハイ、陸上競技部が棒高跳びで国体に出場致しました。中でも、特筆すべきは、バスケットボール部が、八月、長崎で行われましたインターハイで、全国ベスト16という、輝かしい成績を収めた、ということです。これは、昨年の野球部の活躍と共に、私たちに大いなる感動と、そして勇気、希望を与えてくれました。また、これからの母校の発展にとりましても、大きな財産となったと思います。私たち同窓会と致しましても、こうした部活動の益々の活躍を期待したいと思いますし、微力ではありますが、そのために少しでも協力ができれば、と思っております。

また、同窓会は、永年の夢でありました、母校食堂での総会を実現致しました。今日、日本の学校は、様々な問題に直面しています。そういったものを解決する一つの手段は、学校が地域社会と共に歩む、換言するなら、学校と社会の双方向コミュニケーションを実現することではないか、と思います。母校は、既に、盛んなスポーツ活動や、今や地域の名物となった感もあるバザー、さらに、一昨年から実施しておりますチャペルコンサートなどによって、地域を盛り上げております。同窓会と致しましても、母校を利用させていただき、現在の飛躍する姿を、会員の皆様に御覧頂くことで、その一翼を担うことができれば、望外の幸せでございます。

現在、母校では、二十周年に向け、更なる発展を期して、様々な取り組みが進められております。我々同窓会と致しましても、その試みに、積極的に協力して行きたいと思っております。ただ、そうは申しましても、これは、会員の皆様方のご協力があってこそはじめてできるものです。学校、保護者、地域、同窓会が一体となった、これからの、あるべき学校像を目指して、どうぞ、会員の皆様方の、なお一層のご協力・ご支援を賜りますように、お願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年の、母校ならびに会員の皆々様の、益々のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

よい年をお迎え下さい。

文武両道で輝く光泉

名誉会長　校長　馬場　勲

同窓会の皆様方には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は本校の教育に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

この度、第十三号同窓会新聞を発行されますことを心よりお喜び申し上げます。

平成十五年三月に第十三期生を送り出し、本学園の高校での卒業生数は二千六百余名となりました。先輩諸君がそれぞれの分野で大きく活躍されておられることは慶賀にたえません。

本校は、平成十五年度で、学園創立十六目に入っております。これまで先輩方が築いてこられたすばらしい校風を受け継ぎ、年々充実した教育活動とそれに応えた生徒の努力で学習面でも、クラブ活動でも成果を挙げてきています。

◆山田兵衛先生のご逝去を悼み謹んで哀悼の意を申し上げます。

学園の前後援会長山田兵衛様が、去る十月十五日朝、交通事故のためお亡くなりになられました。

謹んで哀悼の意を表させていただきます。

先生は平成十一年度から十四年度の四年間、学園の後援会会長をしていただき本校硬式野球部の甲子園出場や本校の食堂開設に多大のご尽力を賜りました。不慮の事故死で大変悲しいことであります。皆様とともに心から哀悼の意を申し述べさせていただきます。

◆制服が改定されます

学園創立以来、本校のシンボルでありました制服を改定いたすことにしました。

着用は十六年度四月に入学する生徒からが対象であります。改定の趣旨は本校が、開校以来「文武両道の中高一貫教育」として熱心に取り組み大きな評価を得るところまで成長してきました。

そこで、これからは、さらなる発展の第二段階つまり三段跳で言えばホップ・ステップ・ジャンプの「ステップ」に入る時期だと考え、その出発点として、制服を一新し、そのシンボルとしようと考えました。

学校の教育方針の転換ではなく、今までのやり方のさらなる推進を目指しております。今後も良き伝統は継承発展させ、すばらしいものはどんどん取り入れていきます。

来春入学生徒からの制服は男女とも伸縮素材立体裁断などを活用し機能的な動きが取りやすくなりました。男女とも「滋賀に光泉あり」という強い印象を持っていただけると思います。

◆学校の近況について

十一月に恒例の文化祭とバザーを実施いたしました。一千名をこえる方々が参加いただき成功裏に終えることができました。

特に、中学・高校とも生徒の舞台発表は一段と質的に高い内容の発表となってきました。

聖堂でのコンサートも第三回目となり、今年度は日本での若手トランペット奏者の第一人者横田健徳氏の演奏を聞かせていただきました。

文化祭の一貫として、十一月十二日に実施しました全盲のテノール歌手新垣勉さんのコンサート（大津市民会館）は、「オンリーワンの人生を大切に」のメッセージと、平和の願いを込めた心にしみとおる歌、イタリアの歌曲・アベマリア・さとうきび畑他を聞かせていただき生徒たちは、すばらしい歌とその生き方に心から感動をいたしました。

学園では、あらゆる進路に対応できる学力の充実と、部活動の発展そして心の教育の充実をさらに図っていきたいと考えています。

同窓会の皆様には、今後とも学園の発展のためお力添えを賜りますようにお願いいたしますとともに同窓会の益々の発展と会員の方々のご健勝をお祈りいたします。

16年度からの制服